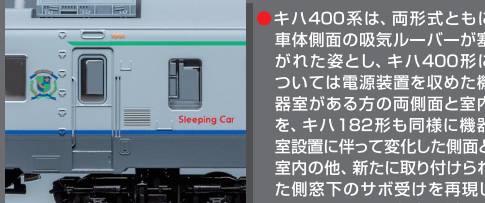




High
Grade
N
GAUGE



●キハ400系は、いずれもジャンパ検受け取り付け準備用の凹みが残る前面を再現、キハ480形では実車に基づいて傾斜角が小さい形態が特徴のスカートを取り付けています。また、常点灯仕様で「ON-OFFスイッチ」付きのヘッド・テールライト、前面表示の点灯には白色LEDを使用し、カラープリズムによってヘッドライトは電球色に近い色で、テールライトは赤色で点灯します（スハネフ14形の車掌室側は基板非装備）。なお、前面表示は「急行」を装着済みとし、ヘッドマークは「利尻」の他、「宗谷」「サロベツ」を付属、スハネフ14形を組み込まない列車にも対応しています。



ロゴマークとエンブレムに加えて、ATS表記や所属表記を印刷済みとし、併せてドア靴ズリとドアレールは銀色で表現しています。

●キハ400系は、搭載するAU400形クーラーと一部のベンチレーターが撤去された屋根の他、グレードアップでリクライニングシートとなった室内も再現しています。



●キハ182形は、編成組み込みに際して変更された幌周りや、ジャンパ検受けを再現しています。また、連結部床下にはハイグレード仕様のキハ400系と製品レベルを合わせるべく、後位側には新規製作のトイレタンクを取り付け、前位側には乗降ドア下のステップと排気管基部、ドレンコックを再現、スハネフ14形とともにカブラーはTNカブラー（SP）としています（スハネフ14形もトイレタンクを装着済み）。



キハ400系急行ディーゼルカー（利尻）セット（5両）

JR北海道では国鉄時代に製造、投入されたキハ40系一般形ディーゼルカー157両（キハ40形150両・キハ48形7両）を民営化時に継承しました。同社は民営化翌年の1988（昭和63）年11月ダイヤ改正で、客車急行「宗谷」「天北」のディーゼルカー化を実施するため、キハ40形9両とキハ48形4両に対して出力強化と冷房化、車内のグレードアップ改造を行います。両急行に充当されたこのキハ40系は、キハ400系キハ400形、キハ480形に形式が改められ、1991（平成3）年には夜行の客車急行「利尻」をディーゼルカーへ置き換える際にも両形式が使用されることになり、この編成に組み込む14系特急形寝台客車のスハネフ14形は引き通し回路などの改造を行い、塗色が変更されました。その後、キハ400形3両はお座敷列車に充当する改造が行われ、不足する車両を補うべく、1997（平成9）年にキハ183系特急形ディーゼルカーのキハ182形3両が電源装置搭載などの改造を行い、塗色を改めて組み込まれました。トミックスでは異種形式で生まれ、塗装が統一された「利尻」編成を製品化、モーター付きと無しのキハ400形2両、キハ480形、キハ182形、スハネフ14形各1両の5両をセットにまとめました。モデルはハイグレード仕様のキハ400系を新規に製作、改造車のキハ182形も側面や妻面、車内シートを新たに製作しています。また、モーター車にはM-13モーター使用のフライホイール付き動力ユニットを搭載し、その他各車には新集電システムを採用、いずれも黒色車輪とし、車体番号の転写シートを付属します。なお、トミックス公式サイトでは夜行急行「利尻」について、詳細を解説した『JRキハ400系急行ディーゼルカー（利尻）スペシャルサイト』を掲載しています。

キハ400系 急行ディーゼルカー（利尻）

■ JR キハ400系急行ディーゼルカー（利尻）セット（5両）
＜97240＞ 予価¥31,900（税込）

JR北海道商品化許諾済

7月発売予定